

使用済み商用車架装物 解体マニュアル

ダンプ車

スライドボデー付ダンプトラック

(ローダダンプ) 用

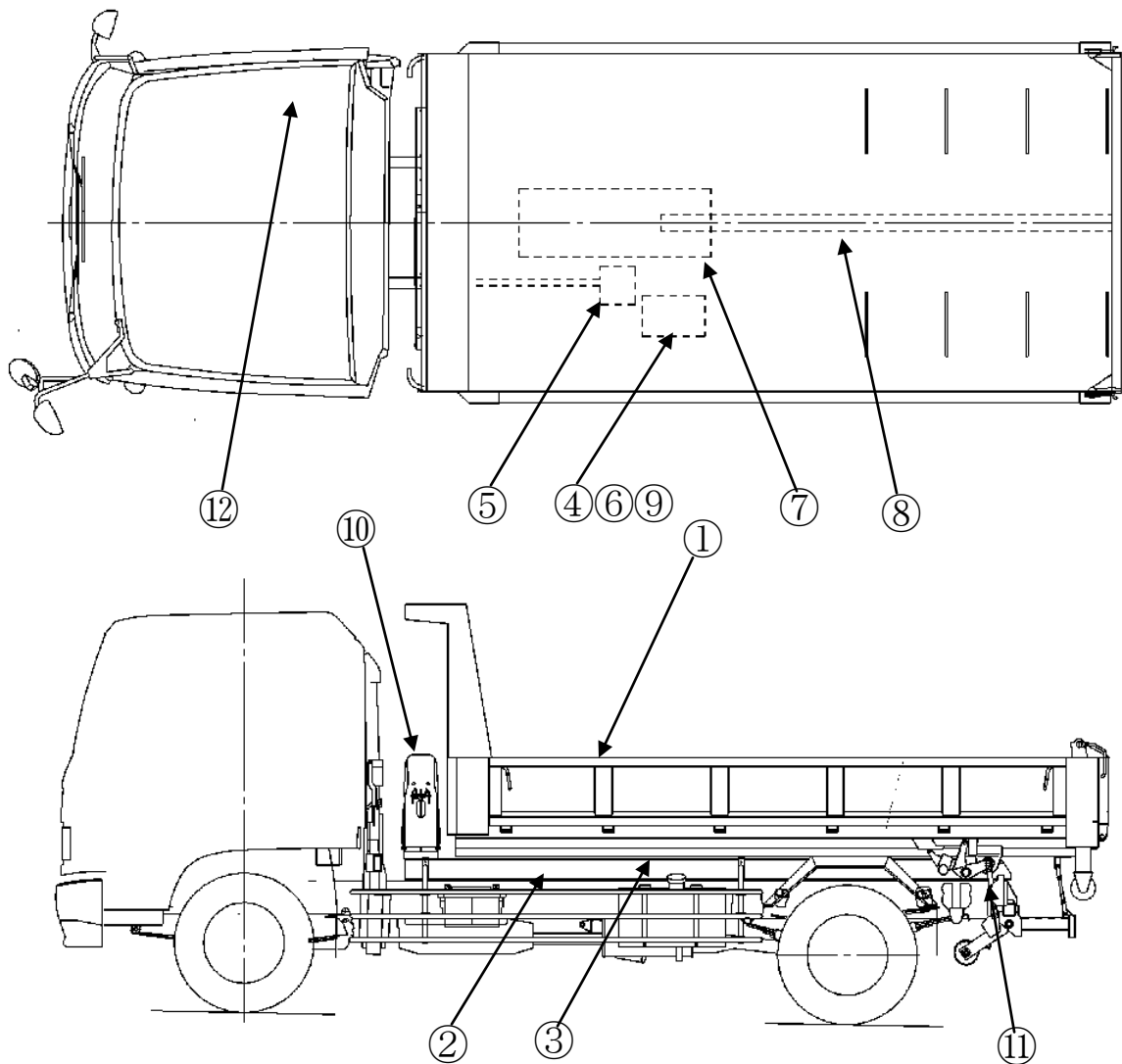
1. 解体マニュアルは一般的な事例を示しています。掲載している図、表は実物と異なる場合がございますのでご了承ください。
2. 解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷物質の取り扱い等につきましては、「使用済み商用車架装物解体マニュアル（新明和工業株式会社 共通編）」を併せてご覧ください。
3. このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めてください。

内 容

1. ローダダンプ架装物の構造概要
2. ローダダンプ架装物の解体マニュアル
3. お問い合わせ窓口

新明和工業株式会社

1. ローダダンプ架装物の構造概要



(注記) 上図は一般的なローダダンプを例に表示しており、車種及びローダダンプ仕様により形状等が異なる場合があります。

品 目 表

番号	品目名称	番号	品目名称
1	ダンプ荷台	7	ダンプホイス機構
2	サブフレーム	8	スライドシリンダ
3	スライドフレーム	9	パイピング
4	コントロールバルブ	10	スペアタイヤキャリア
5	ポンプ	11	アクセルコントロール
6	オイルタンク	12	電装部品

2. ローダダンプ架装物の解体マニュアル

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理	ダンプ荷台が空であることを確認し、外装部品を取り外してください。(リヤフェンダー、ランプ類)	解体マニュアル(共通編)を参照願います。
車両全体	ダンプ荷台降ろし	荷台を500mm程スライドさせ、荷台前部のローラーブラケットを取り外し、スライドシリンダのピンを抜いてください。	周囲の安全を確認してください。
車両全体	ダンプ荷台降ろし	天井クレーンを使用して、ダンプ荷台を水平になるまで吊り上げた後、後方に引き抜いてください。このときジャッキフレームが見えたら引き抜くのを一旦やめ、ジャッキフレームの先端を固定してください。固定後、荷台を引き抜いてください。	ワイヤ掛けを確実に行って安全に注意してください。
車両全体	作動油抜き	スライドシリンダを走行位置まで戻した後、ポンプの低圧、高圧ポートを外し作動油を抜いてください。作動油量は20~30リットルです。	オイルパン等を準備してください。
車両全体	スライドフレーム	スライドシリンダの油圧ゴムホースと、ダンプヒンジのシャフトを外しスライドフレームを降ろして下さい。このときリヤジャッキ部分も外します。	クレーン等を使って安全に注意してください。
車両全体	ダンプホイスト機構	油圧ゴムホース等を外しダンプホイスト機構を降ろしてください。油圧ポンプも外してください。	クレーン等を使って安全に注意してください。
1	ダンプ荷台	溶断等により裁断し、材質により分別してください。	切断ヒューム、粉塵等に注意してください。
2	サブフレーム	溶断等により裁断し、材質により分別してください。	切断ヒューム、粉塵等に注意してください。
3	スライドフレーム	溶断等により裁断し、材質により分別してください。	切断ヒューム、粉塵等に注意してください。
4	コントロールバルブ	内部残油を抜いた後、専門業者に委託して適切に処理してください。	オイルパン等を準備してください。
5	ポンプ	内部残油を抜いた後、専門業者に委託して適切に処理してください。	オイルパン等を準備してください。
6	オイルタンク	内部残油を抜いた後、金属類とゴム類に分別してください。	オイルパン等を準備してください。
7	ダンプホイスト機構	ダンプホイスト機構は金属類と樹脂類(ブッシュ等)に分別してください。	
8	スライドシリンダ	内部残油を抜いた後、金属類とゴム、樹脂類に分別してください。	オイルパン等を準備してください。
9	パイピング	内部残油を抜いた後、金属類とゴム、樹脂類に分別してください。	オイルパン等を準備してください。
10	スペアタイヤキャリア	取り外し分別してください。	
11	アクセルコントロール	金属類とゴム、樹脂類に分別してください。	
12	電装部品	金属類と配線類、樹脂類に分別してください。	主配線はシャシ側に渡って配索されているため、切り離してください。

(注) 油圧機器の解体には専門知識、工具が必要ですので専門業者に委託して適切に処理願います。

3. お問い合わせ窓口

本解体マニュアルに關しまして、お問い合わせ事項等がございましたら下記までお願い致します。

新明和工業株式会社 特装車事業部 開発部

TEL : 0283-23-2226

以上